

平成31年3月26日(火)

栄光の架橋

皆さんご存知のゆずの歌です。歌詞をよく読んでみました。

誰にも見せない泪(けだ)があった
人知れず流した泪があった
決して平らな道ではなかった
けれど確かに歩んで来た道だ
あの時想い描いた夢の途中で今も
何度も何度もあきらめかけた夢の途中

いくつもの日々を越えて 辿り着いた今がある
だからもう迷わずに進めばいい
栄光の架橋へと…

悔しくて眠れなかった夜があった
恐くて震えていた夜があった
もう駄目だと全てが嫌になって
逃げ出そうとした時も
思い出せばこうしてたくさんの
支えの中で歩いて来た
悲しみや苦しみの先に それぞれの光がある
さあ行こう 振り返らず走り出せばいい
希望に満ちた空へ…

誰にも見せない泪があった
人知れず流した泪があった
いくつもの日々を越えて
辿り着いた今がある
だからもう迷わずに進めばいい
栄光の架橋へと…
終わらないその旅へと
君の心へ続く架橋へと…

一つ一つの歌詞をよく読むと、アテネオリンピックに至る選手の心模様ばかりではなく、私たち一人一人の歩みを確認することのできる歌詞なのだとあらためてわかります。

それぞれの栄光の架橋をそれぞれが渡り、次なる新しい道の前に向けて、少しでも自分の力を尽くせるように、心から願います。

捲土重来を期す皆さん。来年はこの歌を大声で一緒に歌いましょう。

